

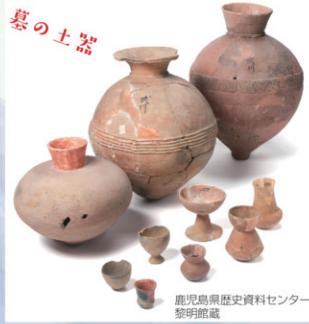


鹿児島県立埋蔵文化財センター蔵

古墳時代後期末・7世紀に入ると、須恵器とともに、黒色で、表面に施された模様や成川式土器では数が少ない瓶が出土しているのが特徴です。

古墳時代後期末 7世紀初頭

成川遺跡 指宿市



鹿児島県歴史資料センター
参考写真

大型壺は土器棺、小型器種は供獻土器である。土器墓、土器棺墓として、考古学上でも著名な遺跡である。この遺跡の調査成果が、1960年代後半から70年代にかけて「隼人」を考古学で明らかにしようとする気運を盛り上げた。

飛鳥～奈良時代 7～8世紀

吉原遺跡 志布志市



志布志市教育委員会蔵

鹿児島では少ない飛鳥～奈良時代（7～8世紀）の土器群である。煮沸用には成川式土器の甕を受け継いだ土器が用いられています。木葉紋のある土器、縦突き等を付けた土器は奄美諸島の兼久式土器との関係も指摘されています。

大神免遺跡 えびの市

北の成川式



えびの市教育委員会蔵

鹿児島・宮崎・熊本三県境の盆地、宮崎県えびの市にある大規模集落遺跡である。古墳時代の全時期をとおして、住居跡が確認できるが、とくに後期後段階の資料が多い。

成川式土器が主体であるが、その中にもえびのの小地域性、宮崎平野からの影響などがみられる。

やってきた 土器



芝原遺跡の庄内系・
布留系型

ま 土ね 器た



梅形甕とその模倣品
右: 梅形甕 (鹿屋市岡崎 18号墳)
左: 模倣品 (鹿児島大学構内遺跡
郡元団地)

成川式土器ってなんだ？—鹿大キャンパスの遺跡で出土する土器—

2015年9月30日

編集: 横木達也 発行: 鹿児島大学総合研究博物館
890-0065 鹿児島市郡元1-21-30 099-285-8141
<http://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/>

成川式土器って なんだ？

—鹿大キャンパスの遺跡から出土する土器—

いま、われわれが日々を過ごしている鹿児島大学の郡元キャンパスの地下には古代の遺跡が眠っています。

この遺跡では、およそ西暦3世紀半ば頃から、7世紀初頭までの古墳時代の資料がものが多く出土します。ここは古墳時代の大規模集落なのです。

そのため、鹿大では地中を掘るような工事の際に発掘調査が必要です。それにもなって、さまざまな遺物が見つかっています。こでもっと多く出土するのは成川式土器よばれる土器です。

このことを踏まえて、ここでは、そもそも成川式土器とはいっていい土器なのか？この土器からどんなことが分かるのか？についてあらためて考えてみたいと思います。



鹿児島大学構内遺跡
郡元団地
福岡アカデミー地点
発掘調査風景

理学部2号館地点
河川内土器出土状況

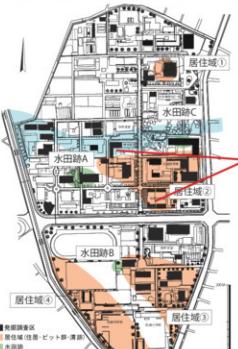
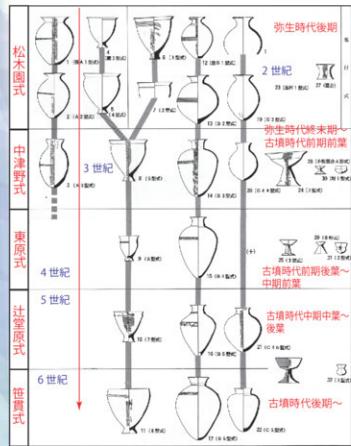


図1 鹿児島大学構内遺跡における
弥生～古墳時代の遺跡立地



成川式土器編年表 (中村 1987) より転載



左写真: えびの市
右写真: 鹿児島大学構内遺跡 (郡元団地)・理学部2号館
出土の成川式土器
鹿児島大学埋蔵文化財調査センター蔵

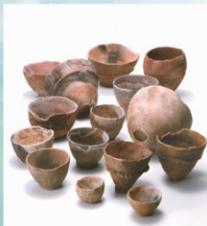
さまざまな遺跡の成川式土器

郡元キャンバス出土の成川式土器



壺 つぼ

貯蔵用の容器です。
水やお酒などを入れたのでしょうか。



**平底鉢 ひらごはち
皿 こし**

鉢はどんぶりのような食器か、
調理具としてのボウルでしょうか。
小型のものは持ち物の食器としても用
いられたでしょう。底に孔のある瓶
は蒸し器です



**壺 かめ
台付鉢 カいつはち**

壺は煮炊き用の土器、お鍋です。
台付鉢は壺と形が似ていますがボ
ウルのような調理具ではないでしょ
うか。

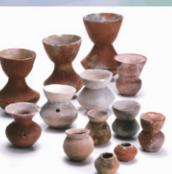


まつりの土器・土製品

壺、壺、鉢などを小さくつ
くっています。お祭りの道具
で、実用品ではありません。



**勾玉 まがたま
丸玉 まるだま**



高杯 たがつき

置いて使う食器です。成川式土
器のなかでも丁寧に作られたもの
が多くみられます。

小型壺のなかま

飲用器、水やお酒などを飲むため
の土器だと考えられます。
胴部に孔のあいた壺は竹筒をさして
注ぎ口にして使います。

伊原遺跡

南さつま市金峰町
せんばうちょう



鹿児島県立埋蔵文化財センター蔵

古墳時代前期
3~4世紀

中津野遺跡

南さつま市金峰町



鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵

河口直徳氏が、1950（昭和25）年に発掘調査した成川式土
器の最古段階、「中津野式」の標識資料です。弥生時代終末～
古墳時代前期にかけての土器です。

清水前遺跡

南さつま市坊津町
ぼうづちょう



薩摩半島南端の港町、坊津で出土した古墳時代前
期・中津野式から東原式の土器です。土器帯布系
壺や奄美諸島の土器も出土しています。

吹上小中原遺跡

日置市吹上町
ひきじょうまち



古墳時代中期、
5世紀半ば頃の土器です。壺には台
付壺と丸底壺がみられます。またこ
の頃から赤彩した
小型器種がひろがります。



古墳時代中期
5世紀

鹿児島県立埋蔵文化財センター蔵

